

## 令和5年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

<b>団体名</b> 愛知県刈谷市立雁が音中学校2年生	<b>団体区分</b> (混成の場合は複数☑) <input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 民間 <input checked="" type="checkbox"/> 学校・NPO・個人等
<b>取組名</b> 雁中SDGsプロジェクト～下水道&刈谷市の魅力を伝え隊～	
<b>責任者 (実際に広報に取り組んだチームの代表者)</b> 氏名：山本真希 田中高典 菊地惇也 所属：刈谷市立雁が音中学校 電話：0566-24-1038 E-mail： <a href="mailto:tanaka-tk@school.city.kariya.aichi.jp">tanaka-tk@school.city.kariya.aichi.jp</a> (上記の田中のアドレスになります)	
<b>担当チームの構成</b> 企画・実施：雁が音中学校職員、生徒 (実施時は1年生)、下水道推進実行委員 (生徒有志23名) 協力：刈谷駅前観光案内所、刈谷市役所水資源部下水道課、愛知教育大学教授 資料提供：愛知県建設局下水道課	
<b>取組のポイント</b> ○刈谷市のマンホールカード発行1周年を記念して、刈谷駅前観光案内所とコラボレーション。 ○総合の授業では、わくわく下水道新聞を作成して下水道の魅力を地域・社会に発信。 ○美術の授業では、わが町自慢ホール (蓋) を制作して刈谷市の魅力を地域・社会に発信。 ○下水道推進実行委員によるPRの場を設定。(地元の小学校への訪問、地元のケーブルTV「KATCH」・地元の情報誌「ホームニュース」の取材、刈谷市駅前観光案内所のフェイスブックに動画をUP) ○本校の取り組みを知った愛知教育大学の教授から声をかけていただき、1月末に愛知教育大学主催の地域連携フォーラム2023に参加しプレゼンテーションする予定。	
<b>アピールポイント</b> 【総合の授業】…総合の授業で、SDGsの学習の一環として下水道について学び、より多くの人に下水道の魅力を知らってもらうためにわくわく下水道新聞を作成して、刈谷駅前観光案内所に展示。 【美術の授業】…美術の授業で、刈谷市の魅力を刈谷市民や刈谷市に訪れる人へPRするために「わが町自慢ホール (ミニマンホール蓋)」制作を行い、刈谷駅前観光案内所に展示。 ※マンホール蓋は下水道と地上をつなぐものであるため、美術と総合を関連づけて学習を進めた。 ○下水道新聞は、下水道に関する豆知識やクイズなどが分かりやすくまとめられており、子どもから大人まで読んだ人が楽しく下水道について学べるように工夫して作成を行った。 ○「わが町自慢ホール」は、刈谷市のマンホールデザイン公募規定に則して制作を行い、刈谷市の魅力がぎゅっとつまったかわいらしい作品に仕上がった。大学教授から、デザインの専門的なアドバイスをもらい、クオリティの高いデザインを追求することができた。モチーフは、かきつばたや小玉すいか、ハイウェイオアシス、フェライト、児童遊園など刈谷市を象徴する様々なものがあり、見る人を楽しませた。 ○下水道推進実行委員の活躍。下水道についての学びや刈谷市の魅力を地域社会に発信する実働部隊として、外部機関と提携してPR活動を行った。	
<b>要したコスト</b> わが町自慢ホール (蓋) 教材費：1480円 (美術の教材費なので生徒が負担。学校側は実質0円)	



## 取組の概要

### =生徒自身が下水道の魅力に興味をもち学習を深められるような取り組み=

本校の生徒は、総合学習の一環として系統的にSDGsについての学習を行っている。1年時では、生徒自身から、「ご当地マンホールに興味がある」と声上がり、SDGsの中の目標6（安全な水とトイレを世界中に）、目標14（海の豊かさを守ろう）、目標17（パートナーシップで目標達成しよう）を中心に学習を進めてきた。下水道の仕組みや役割を知り、自分たちにできることを考え、学びを地域社会に発信して貢献するという目標を掲げるに至った。同時に、美術の学習ではマンホールデザインの工夫について学び、「わが町自慢ホール」を制作することで、下水道の魅力だけでなく、自分たちの住む町を自慢するデザインを考え、地元のPRを目指した。

### =下水道&刈谷市の魅力を地域に発信するためのPR活動=

刈谷市のマンホールカード発行1周年を記念して、刈谷駅前観光案内所とコラボレーションをし、下水道&刈谷市の魅力を地域・社会に発信するために、学びを形にして展示を行う展示会を企画した。より多くの方々に普及するため以下のようにしてPR活動を行った。

- ①地元の小学校を訪問し、チラシを配付
- ②地元のケーブルTV「KATCH」・地元の情報誌「ホームニュース」の取材を受けて宣伝
- ③刈谷駅前観光案内所のフェイスブックに動画をUP

### =作品展示会=

日 時：R5年3月4日（土）～3月31日（金）

午前10時～午後6時

場 所：刈谷駅前観光案内所（刈谷市産業振興センター1F）

- 内 容：①総合の授業で作成したわくわく下水道新聞集  
②美術で制作したわが町自慢ホール

見どころ：①下水道の仕組みや役割だけでなく、「日本の下水道を全てつなげた長さ」や「日本と世界の下水道の違い」など、下水道にまつわる豆知識も多数掲載しており、老若男女楽しめる内容になっている。

- ②配色は6色限定、黒と有彩色の部分の割合、単純化、構成美などを工夫しながら、本物に負けないくらいの完成度の作品となっている。



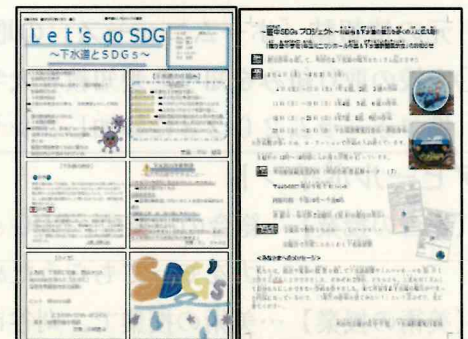
下水道推進実行委員による活動報告



PR活動



生徒作品「わが町自慢ホール」



左：わくわく下水道新聞 右：PR用チラシ  
全て生徒の自作

## 成果

- 展示会後実施したアンケートでは、9割以上の生徒が下水道への理解が深まったと回答した。
- 生徒の感想には、「食器の洗い方の工夫や排水溝をきれいにするなど、生活の中で自分たちにできることがたくさんあると知ったので、実践していきたい」「ご当地マンホールは下水道を知るための入り口であることが分かった。また、その地域の特徴を表しているのので、これから旅行に行ったら探してみたい」などと書かれており、下水道を身近な存在として認識し、学びを生活の中に生かそうとする姿が見られた。
- 刈谷駅前観光案内所では展示の期間中、多くの方が足を止めて新聞集を読まれたり、作品を写真に収めたりされていた。展示会後、スタッフの方々から「大好評でした。多くのお客様がじっくりご覧になりました」と太鼓判を押していただいた。